



◆ アクネベース

(阿久根市鶴見町)

施 主：阿久根建設株式会社
設 計：阿久根建設株式会社
施 工：阿久根建設株式会社

地域の方々に木の良さを知ってもらい、地元材への関心を高めるために地域交流施設を整備。

公共機関に近く、緊急時は一時退避施設などとして提供可能。また、木育体験のスペースや地元高校と連携し食品販売所として活用しながら、地域住民に木の良さ等をPRする。

建設時は地元製材所と連携し、大工を目指す地元高校生に製材から施工までの過程を学ぶ場として提供した。

CONCEPT

周囲の景観と調和するよう、通りと平行する片流れ屋根の形状とし、木の建物であることがひと目で分かるよう、外壁も木材を採用した。

土間スペースを広く設け、多目的な用途に対応できる計画とした。

パネルログをそのまま室内の現しとすることで、室内の温度勾配を緩やかに保ち、快適な室内環境をつくっている。また、内装工事の一部を省略できたことで、工期の短縮に成功した。

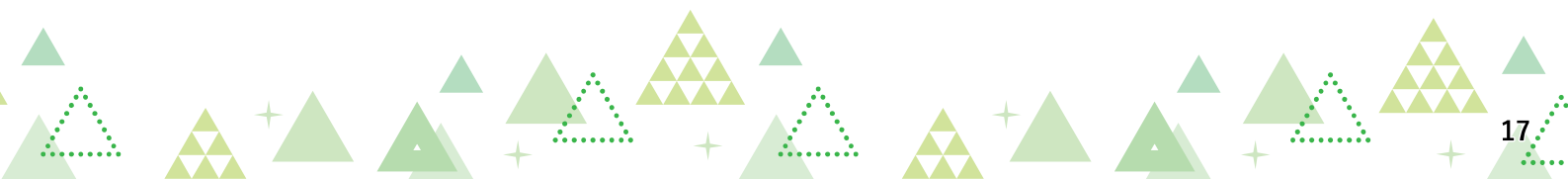
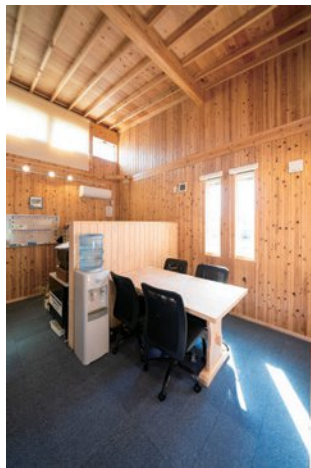
パネルログ工法

角材を縦に並べて専用のビスでつないでいき、1枚のパネルにしたものを柱の間に組み込んでいく工法。

OUTLINE

用 途： 多目的交流施設
竣 工 年 月： 2023 年 3 月
階 数： 地上 1 階
構 造： 木造

建 築 面 積： 74.52 m²
延 床 面 積： 62.67 m²
総 事 業 費： 15,084 千円
木材使用量： 27.98 m³





◆ MOSHIMO BASE

(鹿児島市石谷町)

施 主：株式会社ベガハウス
 設 計：株式会社ベガハウス
 施 工：株式会社トクエイ

3軸 CNC ルーター（以下、ShopBot）を用い、デジタルファブリケーションによる木工プロダクトの開発や建築への新たな応用を模索する研究開発施設として建設した。新築住宅への波及として、複雑な形状（曲面天井など）の下地材を製作している。機械製作による長所を活かし大工作業の一助となっている。

ShopBot で加工された木材はプラモデルのように簡単に組み立てることができる。地元の小中学生や県外の大学生を招いたものづくりワークショップの開催、鹿児島の創作活動をされている方々（音楽家、料理家、写真家など）と仕事道具の共同開発など、ものづくりの関係人口を増やすような取り組みも行っている。

CONCEPT

地域材の利用促進を図るため、川上から川中、川下の連携による地域材の調達体制を構築した。原木生産者と（株）ベガハウスで丸太の選定、伐採作業を行った。

建物は扇形の形状で設計し通路路面を全面ガラス張りにすることで、外から工房内部の木構造や利用者の作業状況を見学できるようにした。

JAS と同程度の品質管理がされている「認証かごしま材」を構造体を使用することで、無等級材では実現の難しい木造ラーメン架構とし、内部は柱壁の無い作業空間を構築した。

建物周囲には（株）ベガハウスの木造社屋が2棟あり、敷地全体は植栽などでランドスケープデザインされているため、調和を図るために草屋根の建物とした。

OUTLINE

用 途：	木材加工場、工房、研究・開発施設
竣 工 年 月：	2022 年 5 月
階 数：	地上 1 階
構 造：	木造
建 築 面 積：	71.51 m ²
延 床 面 積：	71.51 m ²
総 事 業 費：	17,105 千円
木材使用量：	21.16 m ³





◆ 有料老人ホーム「すばる」 (西之表市西之表)

施 主：特定非営利活動法人こすも
設 計：DORON建築設計事務所
施 工：株式会社サイコウ

入所・通所一体型の介護施設を木造にて町の中心部に建設し、イベントの開催等を通して、近隣に居住するお年寄りは勿論、老若男女を問わず迎え入れ、地域社会との交流を促進する。

内装木質化につとめ、安らぎと温かみのある空間で過ごして貰う。

CONCEPT

整備した施設は、構造材、内装材に島内産の木材を使用し、木の温かみを感じることができる空間としている。

利用者が集まる食堂兼交流スペースを建物の中心に置き、その空間を囲むように個室を配置している。皆が集う空間は天井を高くし、建物の内部に居ながら開放感を感じることができる。

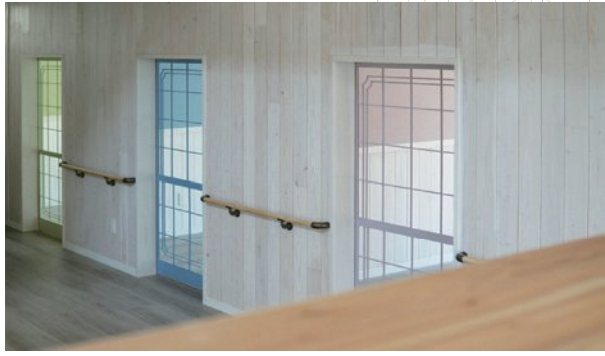
高いところに窓を設け、部屋の中にこもれびが差し込むような吹抜け空間としている。

湿気の高い種子島において、内装木質化を進めることによって壁が給排湿機能を果たし、心地良い室内環境を維持できるよう導いている。

壁面や腰壁に杉板を使用することによって、手摺などを整備し易くしている。

OUTLINE

用 途：	有料老人ホーム
竣 工 年 月：	2022 年 3 月
階 数：	地上 2 階
構 造：	木造
建 築 面 積：	285.46 m ²
延 床 面 積：	287.60 m ²
総 事 業 費：	62,000 千円
木材使用量：	64.00 m ³





多目的ホール

◆ 障がい者グループホーム「レプタ館Ⅱ」 (奄美市名瀬)

施 主：特定非営利活動法人栄光
設 計：株式会社重信設計
施 工：ヤマシタ建設株式会社

精神障がい者や知的障がい者が地域社会の中で、木の温もりが感じられ、安心して過ごせる住空間を整備するとともに、地域住民とのコミュニケーションの場とした。

CONCEPT

施設内の多目的ホールやウッドデッキは、県産材を使用し、入居者や家族、地域住民が木の温もりを感じながら気軽に交流できる開放的な空間とした。

地域景観を阻害することのないよう、シンプルなデザイン・色彩計画とし、環境にやさしい居住空間を創出した。



多目的ホール

OUTLINE

用 途：	寄宿舍
竣 工 年 月：	2022 年 3 月
階 数：	地上 2 階
構 造：	木造
建 築 面 積：	230.91 m ²
延 床 面 積：	394.17 m ²
総 事 業 費：	70,463 千円
木材使用量：	87.69 m ³





◆ 末吉中央公民館

(曾於市末吉町諏訪方)

施
設
施

主：曾於市
計：株式会社衛藤中山設計
工：鎌田建設株式会社 曾於支店（建築）
株式会社竹之下電工（電気）
株式会社川原設備（機械）

既存の公民館が供用開始から58年が経過し、老朽化が進み、生涯学習の拠点として求められる多種多様なニーズへの対応が困難となったための移転建替え事業である。

大会議室、研修室、和室等の機能を備え、多くの市民が利用する施設である。

構造材には日本農林規格の「JAS構造用製材」が使用され、安全で品質の高い「地元曾於市産材」を総木材量のうち92%以上に使用している。

CONCEPT

老朽化によってRC造から木造で建替えた末吉中央公民館。森林が豊かな地域のため、木造で計画することは前提でありながら、特殊な構造ではなく、在来軸組工法にCLTを組み合わせることで、地元企業が製材から建て方まで行える建物となるように設計を進めた。

耐力壁として、すべての筋交いの代わりに使用したCLTは仕上としての役割を兼ね、あらかじめ柱とCLTを接合したユニットを建てることで、工期短縮とコスト縮減を実現している。さらに野地板にもCLTを利用して剛性を確保し、垂木が不要となることで工期短縮を図っている。

筋交いのすべてをCLTにしている構造は鹿児島初の実現となり、簡潔な仕組みで地元企業が施工できることから、CLTを使用したひとつのモデルケースとなることを目指した。

OUTLINE

用 途：	集会場
竣 工 年 月：	2021 年 3 月
階 数：	地上 1 階
構 造：	木造

建 築 面 積：	1,097.69 ㎡
延 床 面 積：	996.09 ㎡
総 事 業 費：	551,317 千円
木材使用量：	303.22 ㎡

